

2018年度 第1回京大入試実戦模試志望動向<前期>

2018/9/20

○全体では、志望者数は指数 95 のやや減少。

○文理別では、志望者数は文系が指数 99 の微減、理系が指数 94 の減少で、いずれも減少に転じた。

○文系では、経済(文)が指数 103 のやや増加で、系統への人気が高いことから増加が継続しているが、他はいずれも減少。教育(文)は指数 91 とはっきり減少し、前年度の模試で大幅増加した反動が見られるが、同じく前年度の模試で大幅増加だった総合人間(文)は指数 98、文は指数 99 の微減にとどまっている。法は指数 98 の微減で文系では唯一減少が継続。

○文系学部の理系型募集区分は募集人員が少ないこともあって極端な増減が表れやすいが、経済(理)が指数 82、教育(理)は指数 89 といずれも大幅減少。経済(理)は前年度の模試で大幅増加した反動となっている。教育(理)は模試での大幅減少が継続。一方、総合人間(理)は指数 99 の微減にとどまっており、前年度の模試で大幅増加した反動はほとんど見られない。

○理系は、理が指数 103 のやや増加だが、平均偏差値は変動がないため前年度並の競争。他はいずれも減少している。工は指数 92 の減少で、6 学科全てが減少しており、特に(物理工)、(地球工)の大幅減少が目立っている。農は指数 96 のやや減少で、系統の人気の低さの影響が表れている。

○メディカル系は、全て減少。特に薬が指数 85、医(医)は指数 89 といずれも大幅減少しているが、平均偏差値は薬が変動なし、医(医)は 0.1 ポイントダウンにとどまっており、いずれも易化傾向は見られない。医(人間健康科学)は指数 97 のやや減少だが、平均偏差値は 1.0 ポイントアップで難化傾向が見られる。

2018年度 第1回京大入試実戦模試 志望状況

2018/9/20

大学	文理	学部(学科)	志望者指数		平均偏差値差	
			2018年度 /2017年度	2017年度 /2016年度	2018年度- 2017年度	2017年度- 2016年度
京大	文系	文	99	115	+0.6	-0.5
		法	98	96	+0.2	+0.3
		経済	103	109	-0.7	+0.5
		教育	91	117	-0.5	+0.6
		総合人間	98	113	±0.0	+1.0
	理系	経済	82	115	-0.6	+2.7
		教育	89	82	+0.5	+0.4
		総合人間	99	115	-0.8	+0.5
		理	103	100	±0.0	±0.0
		工	92	104	+0.1	±0.0
		医(医)	89	98	-0.1	+0.5
		医(人間)	97	90	+1.0	+0.4
		薬	85	103	±0.0	-1.0
	農	96	92	+0.3	-0.3	
		文系	99	108		
		理系	94	101		
		大学全体	95	103		

